

2011年3月18日

各位

エクソンモービル株式会社
問合せ先：広報渉外部
TEL 03-6713-4378
甲斐 080-1026-3736
田所 090-6930-9103

東北地方太平洋沖地震による影響について 第6報

エクソンモービル・ジャパングループは、被災地への燃料油安定供給に全力を挙げて取り組んでいます。これは、昨日(3月17日)海江田大臣が石油連盟宛に要請した優先事項に一致するものです。

- 仙台の塩釜油槽所には、被害状況調査チームが到着し、貯蔵されている製品の出荷作業を週末(3月19-20日)にも開始する予定です。これにより、仙台地区での供給再開がより迅速に可能となります。
- 政府の指示に従い、当社グループの関東地方37箇所、東北地方29箇所の給油所が、緊急重点SSの拠点として指定されました。
- 当グループは、輸送手段の不足解消および東北地方での安定的な燃料供給に資するため、利用できるタンクローリーを追加する予定です。
- 3月16日の貨車による輸送の再開を受けて、東燃ゼネラル石油の川崎工場から宇都宮、高崎、松本、上田に向け、ガソリン、灯油および軽油を貨車で一日あたり約100車両分出荷しました。
- 政府による緊急用途向けの燃料を確実に供給するため、東燃ゼネラル石油の和歌山工場と極東石油の千葉製油所は、今後数日間をかけて、200リットルドラム缶入りの灯油と軽油数百本を被災地用に順次トラックにて輸送します。
- 道路の整備が進むにつれ、東北地方の自衛隊基地への石油製品輸送が進んでいます。
- 川崎工場は、現在完全復旧し、ガソリン生産量は震災前と同レベルに戻りました。
- 関西地方にある和歌山工場、堺工場においては、国内向けの製品生産を最優先にして、国内供給を潤沢にするよう努めております。
- さらに、関西地方の製油所からは、関東地方に製品の転送を行っています。
- 関東地方では、既に震災前の供給レベルに戻っているものの、一部地域では需要が著しく増加しています。

以上